

福島第一原子力発電所現地確認報告書

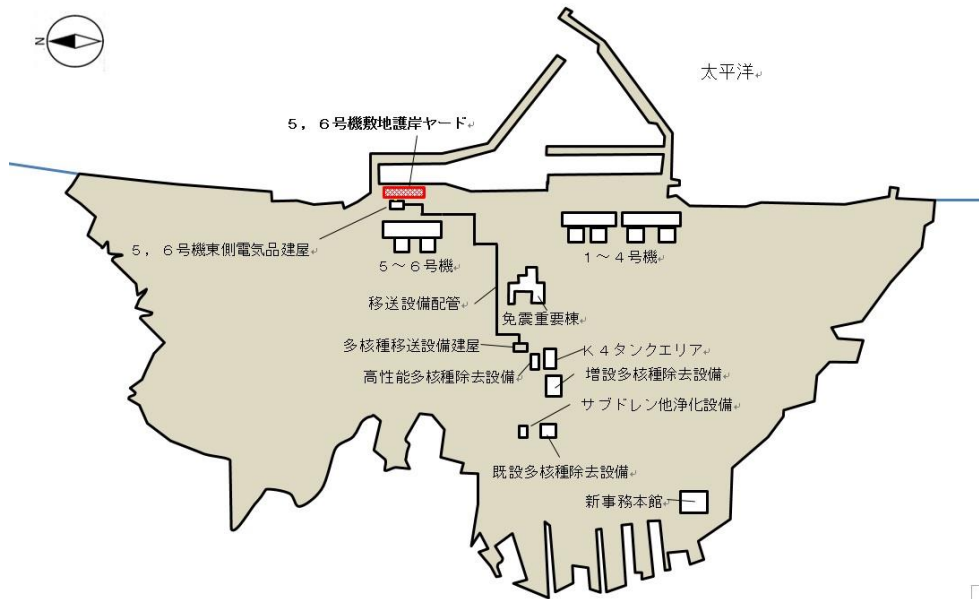
- 1 確認日
令和5年12月13日（水）
- 2 確認箇所
多核種除去設備等処理水希釈放出設備（放水立坑（上流水槽））
- 3 確認項目
多核種除去設備等処理水希釈放出設備の点検・補修の状況

4 確認結果の概要

多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の第3回放出が11月20日に終了した。ALPS処理水希釈放出設備の放水立坑（上流水槽）（以下「上流水槽」という。）内の防水塗装の一部に膨れがあった件に関して、点検・補修が行われていることから、東京電力担当者から現地にて説明を受け、状況の確認を行った。（図1）（前回確認：[令和5年10月26日](#)（上流水槽））

なお、塗装膨れは発生しているが、塗装膜は健全であり、防水層として健全に機能していることが確認されている。

- ・上流水槽から水が排出され、底部まで確認できる状態であり、防水塗装の膨れがあった部分が切除されていた。（写真1）
- ・隔壁間や側壁目地下部のコーキングの一部が切除され、膨れの原因となったと想定される、目地内部の雨水を抜いていた。（写真2）
- ・頂版上では、目地に再度雨水が入らないよう、防水塗装を施工していた。（写真3）
- ・東京電力によると、塗装を修復した後、水槽の貯水性能に問題が無いことを確認すること。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
切除された防水塗装の状況



(写真2)
目地のコーキング切除及び水抜き
の状況



(写真3)
頂版上の防水塗装の状況。写真はプ
ライマー（下塗り剤）を塗った状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。